

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句  
令和元年七月度 入選句（投稿総数二千五百三十七句・一般投句数七百八十四句）  
特選 選者 度会 さち子

青芝に寝ころび語る経済論

大垣市

高橋 柳邦

青芝のひろがる昼休みの公園だろうか。同僚とかつて学んだ、マル経や近経について、それとも最近話題のピケティについて語ったのか。白雲の流れる青空の下、熱く語りあつた学生時代のように。今世界経済はあまりにも複雑、混乱している。

村中の明るくなりし柿若葉

安八郡神戸町

高橋 日出美

この地方は富有柿の産地だ。樽見線の沿線には柿畑が続く。柿若葉ほどの若葉よりも、緑もやはらかく、つやつやと光る。日をうけて風に揺れる柿若葉で、村中が明るくなったと感じる、気持ちのいい句。

何事も無く父の日の父の顔

京都府京都市

八田 弥須子

父の日は、アメリカ合衆国で、母の日に対抗して始まった。だが、商業ベースで騒がれるほどには、母の日より影が薄い感がある。父の日に困惑しつつ、何事もなく、あたりまえの日常が過ぎていけばそれが一番なのだという父親がみえてくる。

秀逸

リラ冷えや大道芸の厳しき目	揖斐郡大野町	藤田 涼子
梅雨湿り箱階段の軋みをり	岐阜市	伊藤 瑞実
蜘蛛の囲や翁の像の傘の蔭	大垣市	上野 深雪
梔子や雨に重たき香をもらす	大垣市	鶴田 信子
レース着て小さな客を迎へ入れ	大垣市	秋山 くに子
沙羅の花こぼるる小径暮れ残る	大垣市	臼井 秀子
吹き渡る青田の風にバスを待つ	大垣市	北浦 典子
サングラス仔犬相手に遊びをり	三重県津市	村山 好昭
どの膝も風をたのしむ更衣	長野県下伊那郡	長沼 まさし

入選

えごの花白き光のまま散れり  
友とよむ句碑に木もれ日夏木立  
走りゆく部活の子らや行々子  
葉桜の影を踏み来て天守閣  
スパイクを決めた瞬間風光る  
触角を雨に伸ばしてかたつむり  
えごの花散るや蒼空知らぬまま  
耀うてつばな波打つ水嶺湖  
滴りの音のみ聞ゆ無住寺  
草の花擦りゆく山羊の乳房張る

神奈川県大和市 岩田 爾瑠  
愛知県日進市 伊藤 隆子  
福井県敦賀市 山田 美千代  
茨城県神栖市 林 三枝子  
大垣市 野村 蓮  
大垣市 清水 登美子  
不破郡垂井町 北村 廣美  
不破郡垂井町 宮代 一草  
養老郡養老町 田中 秀草  
愛知県額田郡 平松 京師

入選

軍港の波おだやかや夏燕  
葉隠れといふ雨宿り蝸牛  
初浴衣熱き輪に入り下駄弾む  
夏のれん隣家の笑い声聞こゆ  
奔放な走り根の径苔青し  
百日草一本加えけさの供花  
風の来て菖蒲をすべる一しづく  
回覧板芯まで濡らす男梅雨  
蟹走る漁港の競りの声高し

養老郡養老町 田中 紫香  
岐阜市 花川 和久  
大垣市 畑中 直美  
大垣市 稲葉 妙宏  
不破郡垂井町 久保田 紘義  
大垣市 尾関 逸子  
大垣市 佐藤 すみ子  
群馬県藤岡市 松原 くるりん  
大阪府東大阪市 森 佳月

選者吟

怪岩も奇岩もほとけ薄暑光

さち子